

計画事業番号	00825	事務事業名	札幌広域圏組合連携事業	担当部署	企画財政部企画課	電話	3603
--------	-------	-------	-------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	札幌広域圏組合規約			
事務事業開始年度	平成9年度		個別計画等	札幌ふるさと圏市町村計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第6章) にぎわい・活力のあるまち	
	(第5節) 広域連携の推進	
	(施策1) 広域連携の推進	
2 対象	市民、職員(新規採用職員など)	
3 目的と内容	札幌ふるさと市町村圏計画に基づき、広域的な観点から管内市町村が協力して地域振興を図るため協同事業を実施する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	(広域圏組合の共同事業) I 研修・研究事業 I-1 研修事業(1)共同研修事業(2)新規採用職員後期研修事業 II 圏域振興推進事業 II-1 情報発信事業(1)広報事業/II-2 周遊促進事業(1)地域旅リメイク事業/II-3 人材・文化交流ネットワーク事業 (1)ジュニアコンサート事業(2)札幌圏アート振興事業/II-4 食のめぐみ推進事業(1)札幌圏逸品発掘事業/II-5 地方創生事業(1)札幌圏移住促進事業(2)札幌圏婚活支援事業
	29年度	(広域圏組合の共同事業) I 研修・研究事業 I-1 研修事業(1)共同研修事業(2)新規採用職員後期研修事業 II 圏域振興推進事業 II-1 情報発信事業(1)広報事業/II-2 人材・文化交流ネットワーク事業(1)ジュニアコンサート事業(2)札幌圏アート振興事業/II-3 食のめぐみ推進事業(1)札幌圏逸品発掘事業/II-4 地方創生事業(1)札幌圏移住促進事業(2)札幌圏婚活支援事業

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
職員研修事業 圏域振興推進事業 イベント、特産品などの情報発信	・職員研修事業:20名受講 ・ジュニアコンサート事業 :市内小学生281名 ・移住相談会(東京都) :相談件数5組	職員研修事業 圏域振興推進事業 イベント、特産品などの情報発信	職員研修事業 圏域振興推進事業 イベント、特産品などの情報発信	職員研修事業 圏域振興推進事業 イベント、特産品などの情報発信	職員研修事業 圏域振興推進事業 イベント、特産品などの情報発信	職員研修事業 圏域振興推進事業 イベント、特産品などの情報発信	職員研修事業 圏域振興推進事業 イベント、特産品などの情報発信

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	札幌広域圏組合が実施する事業に引き続き参画する。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			414		422		422		422	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	414		422		422		422	
	① 合計	414		422		422		422		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	1,680	0	1,680	0	1,680	0	1,680	0	
総事業費①+④			2,094		2,102		2,102		2,102	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①職員研修参加職員	目標値	40	40	40	40
		実績値	20			
	②ジュニアコンサート参加校数	目標値	5	5	5	5
		実績値	4			
③移住相談会 相談受付件数	目標値	20	10	10	10	
	実績値	5				
④	目標値					
	実績値					
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
【指標の定義(算式等)】	実績値					
③	目標値					
【指標の定義(算式等)】	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかというのと妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	管内8市町村が広域的な観点から協力をして地域振興を図るための取り組みであり、広く市民に還元される事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	札幌広域圏組合が事業主体で、各市町村の首長で組織する議会で議決し事業運営がされており、計画どおりに事業が進行している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	事業範囲・事業参加者は広範囲に渡り、市単独では実施できない事業展開がされており、成果は十分にあがっていると考えられる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	管内8市町村の出資で設置した基金運用(基金総額15億円)と、補助金を導入して圏域市町村で事業を展開しているため、市単独で事業を実施するよりも効率的である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--